



新年おめでとうございます

《部内資料》

メールアドレス：masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698

【わたなべ正博後援会】

共産党市議団（4人）は市民のみなさんから寄せられたご意見ご要望175項目を「予算要望書」にまとめ市長に提出

【重点5項目要旨】



2013年12月17日（上田市役所）

講じていただきたい。

適切な対策を講じられたい。

・「住宅リフォーム助成」制度は、「平成22年度及び23年度の実績で補助額の12倍程度の直接的な事業効果」と試算された。緊急経済対策は終了したものの、恒常的な制度として再開されたい。

○資源循環型施設の建設

―説明責任、地元合意、上田市及び関係市町村の責任分担、ごみの減量化など―

○地域医療の再構築

―地域医療再生計画終了後の第4ステージの展開―

の取り組み―

- ・上田地域の医療体制の再構築を進める上で、上田市として平成26年度以降の施策を裏付けるための基金を創設されたい。

○地域内分権の推進

―地域内分権の確立に向けた第4ステージの展開―

○景気・雇用・経済対策の推進

―地域密着、地域循環型経済の仕組みづくり―

・「中小企業憲章」は、国がはじめて中小企業政策の方向性を示したものです。この「憲章」をふまえた（仮称）「上田市中小企業振興基本条例」を制定されたい。

・上田市の持続可能な産業の一つとして、再生可能エネルギー活用を位置づけ、支援策

○交流・文化施設の管理・運営

―直営のメリットを最大限生かした管理・運営体制と事業展開―

- ・開館後の駐車場や道路状況を検証し、駐車場の増設など

・「わがまち魅力アップ応援事業」拡充の検討として、要件緩和、財源の充実などされたい。

*重点5項目に19の分野別要望を加え175項目となっています。

【1月】わたなべ正博のノート



- 1日 佐加神社新年拝賀式
- ・石神自治会新年会
- ・上田駅前新年スピーチ
- ・下之郷9班新年総会
- 別所温泉恒例新年スピーチ
- 生島足島神社参拝
- 2日 モルテイエー塩田・他街頭宣伝
- 3日 訪問対話
- 4日 訪問対話
- 5日 訪問対話
- 6日 訪問対話
- 7日 訪問対話
- 8日 訪問対話
- 9日 訪問対話
- 10日 訪問対話
- 11日 訪問対話
- 12日 訪問対話
- 13日 訪問対話
- 14日 訪問対話
- 15日 訪問対話
- 16日 訪問対話
- 17日 訪問対話
- 18日 訪問対話
- 19日 訪問対話
- 20日 訪問対話
- 21日 訪問対話
- 22日 訪問対話
- 23日 訪問対話
- 24日 訪問対話
- 25日 訪問対話
- 26日 訪問対話
- 27日 訪問対話
- 28日 訪問対話
- 29日 訪問対話
- 30日 訪問対話
- 31日 訪問対話

上田市議会議員選挙「3月23日告示・30日投票（定数30「一名減」）」

新人（若い世代）の動き活発

予定候補が次第に明らかになってきました。

特徴は、20代から40代の世代が5人・6人と出馬を表明しているという新しい動きで、そこに期待が集まる予定候補が次第に明らかになってきました。

わたなべ正博は、前回2436票で当選することが出来ましたが、当然固定したものではありません。

新人が多ければ、結びつきも大きく変わり票は移動します。



2014年1月4日

モルティエ塩田での街頭演説は40回を超えました

前回と同じパターンでは勝ち抜けないことを肝に銘じ、一昨年から続けているモルティエ塩田での街頭演説、毎月発行の「絆」通信

の配布を行ってきました。

安倍政権の暴走から市民のくらしを守る

また、要望を聞く丁寧な訪問対話を重ねるなか、安倍政権の暴走は、消費税増税でも、社会保障改悪でも、TPP推進でも、その犠牲は地方経済、地方自治体に

深刻な形で現れざるをえない状況を実感しています。

わたなべ正博は、その暴走政治から市民の暮らしを守るために全力を尽くします。

前回以上のご支援・ご協力と「わたなべ正博」を広げていただくことを心よりお願い申し上げます。



2014年1月1日正午（上田駅前）

久保田由夫市議・成瀬拓予定候補・古市順子市議
高村京子県議・わたなべ正博市議

日本共産党員の真骨頂

戦争と平和をめぐる分岐の年になりそうな1年です

戦争推進ではなく平和擁護の側に身を置いたのだと

後世の人々に胸を張れるような人生を歩みたい

安倍首相の靖国参拝に抗議する

A級戦犯が祀られ、侵略戦争を美化している宗教施設に現職の総理大臣が白昼堂々と参拝したことの意味は極めて大きなものがあります。

悪影響はこれまでとは格段の違い

安倍首相は、これまで靖国神社を参拝した吉田、中曾根、大平、橋本、小泉などの先輩の首相の名を挙げて弁解していました。

しかし、このような言い訳は通用しません。

安倍首相は保守派ではなくタカ派

これらの首相が参拝したどの時代であっても、首脳会談すら開けないほど中韓両国と日本との関係が悪化していたでしょうか・・・。

そのどの首相であつても、改憲や集団的自衛権の行使容認をめざし、自衛隊を国防軍にしようとしていたでしょうか・・・。

安倍首相に引導をわたす年に

現在の日本は、選挙を通じて国政に意思を反映するとい

う間接民主主義がうまく機能せず、世論と国会内の勢力分布がかけ離れ、逆転してしまっています。そのなかで、デモや集会による異議申し立てなど直接行動による民主主義の回復が求められます。

こうした直接行動の動きを自民党や政権がいかにか恐れ嫌がっているかは、秘密保護法案反対のデモをテロと同一視した石破茂自民党幹事長の発言がよく表しています。

このような異議申し立ての行動を通して、今年には安倍首相に引導をわたす年、解散・総選挙を実現させる年にしなければならぬと思います。

その悪影響もこれまでとは格段に違う大きなものとなり、経済的にも重大な損失を被ることになるでしょう。

このように異議申し立ての行動を通して、今年には安倍首相に引導をわたす年、解散・総選挙を実現させる年にしなければならぬと思います。